

科目名 ナンバリングコード	生活援助実習Ⅱ NUS2427MN3	必修科目	2 年次 2 学期	実習	2 単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 森本 紀巳子				
科目担当者	医学部看護学科専任教員 21 名				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 入院患者の療養生活を理解し、受持ち患者の日常生活援助を実践する。</p> <p>2) 患者および家族や医療者との関わりを通して、看護職に求められる倫理的姿勢を身につける。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 患者の生活状況および健康状態を理解する。</p> <p>2) 患者および家族とのコミュニケーションをとおして、人間関係を円滑にする。</p> <p>3) 日常生活の援助計画を立案し、実践する。</p> <p>4) 患者および家族のプライバシーを尊重する。</p> <p>5) 看護チームの一員として責任感を持ち行動する。</p> <p>6) カンファレンスに積極的に参加し、実習での学びを深める。</p>				
授業計画					
実習期間・場所	実習内容	準備学習（予習・復習等）	必要時間		
2022 年 11 月 28 日（月） ～ 12 月 9 日（金） 2 週間（90 時間） ／1 グループ 場所 ・久留米大学病院 ・久留米大学医療センター	<p>1. 実習スケジュール</p> <p>1) 事前オリエンテーション</p> <p>1 回目：2022 年 10 月 25 日（火）（1、2 限目） 生活援助実習Ⅱの目的・目標・方法、 準備学習、その他</p> <p>2 回目：2022 年 11 月 16 日（水）（4、5 限目） 実習施設の留意事項、 電子カルテの使用方法和留意事項、 実習記録の記載方法等</p> <p>2) 実習</p> <p>1 日目：施設・病棟オリエンテーションと実習 2 日目以降：病棟での受持ち患者への看護実践 最終日：学内まとめ</p> <p>2. 実習方法</p> <p>1) 一人の患者を受け持ち、看護を展開する。</p> <p>2) 病棟スタッフと連携をして看護を進める。</p> <p>3) 看護の実践においては、準備から結果まで 病棟スタッフに報告する。</p> <p>4) 日々の学習を振り返るカンファレンスを行い、 病棟看護師とともに看護の理解を深める。</p> <p>5) 受け持ち患者の看護のまとめの発表 なお、実習では、実務者の指導を得て進める。</p>	<p>実習前</p> <p>・関連科目の復習 ・技術演習、課題レポート ・実習病棟の事前課題</p> <p>実習期間</p> <p>事例への看護実践計画の立案 受け持ち患者の看護実践計画、 実施、評価をまとめる</p> <p>・翌日の計画の立案 ・ケアに必要な知識、技術の学習 ・患者の情報の整理 ・患者の関連図の作成 ・受け持ち患者の看護のまとめ</p>	<p>30 分</p> <p>60 分</p> <p>60 分</p> <p>毎日 60 分</p>		
テキスト	なし				
参考書	深井喜代子編：新体系看護学全書基礎看護学②③ 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、メヂカルフレンド社、2020				
成績評価					
方法（割合）	基準				
実習実施（80%） 実習態度（20%）	実習評価項目の達成度をポイント化して評価する。 なお、実習オリエンテーションの時間は実習時間に含む。				
課題（レポート等）に対するフィードバック	毎日の実習記録は添削後、コメントを返す。				